



まちづくりにおける駐車場政策あり方検討会  
施設デザインWG

さいたま市 シェア型マルチモビリティの取組と交通政策

2024/01/16

# さいたま市の概要



- 東京都心から20~40km・埼玉県南東部に位置
- 政令指定都市・県庁所在地
- 新幹線6路線が集まる交通結節点

- 2001年5月 さいたま市誕生  
埼玉県内で初の100万人都市
- 2003年4月 政令指定都市移行 (全国で13番目)
- 2005年4月 岩槻市と合併

## 人口・世帯数(2023/12/01現在)

人口 : 1,344,875人 (前月比増減 262人)

男性 : 666,453人

女性 : 678,422人

世帯数 : 640,062世帯 (前月比増減 423世帯)

### 年齢別の内訳

14歳以下  
170,756人

15~64歳  
861,642人

65歳以上  
312,477人

# さいたま市の将来都市構造

◆将来都市構造図



## ■ 2 都心

- ・高度で広域的な都市機能が集積し、  
多様な都市活動や市民の拠点となる地区

- ①大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区
- ②浦和駅周辺地区

## ■ 4 副都心

- ・都心を補完し、多様な都市活動を支える  
都市機能を備える地区

- ①日進・宮原地区
- ②武蔵浦和駅地区
- ③美園地区
- ④岩槻駅周辺地区

# さいたま市の伝統産業

## 大宮の盆栽



さいたま市大宮盆栽美術館(H22. 3. 28開館)

## 岩槻の人形



さいたま市岩槻人形博物館(R2. 2. 22開館)

## 浦和のうなぎ



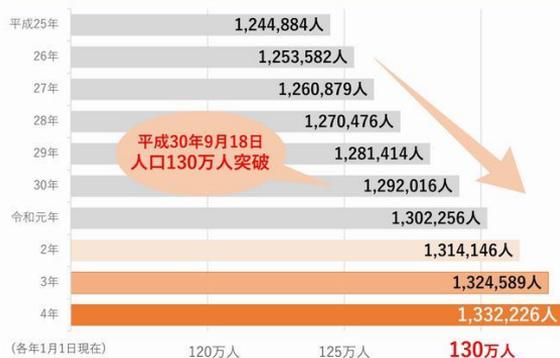
浦和うなぎまつり(毎年5月下旬開催)

# さいたま市のスポーツ



# データから見るさいたま市

## ● 増え続ける人口 毎年約1万人増



## ● さいたま市は住みやすい 87.2%



## ● さいたま市のイメージ

順位	イメージ	割合
1位	買い物など生活に便利なまち	54.4%
2位	居住・生活環境のよいまち	50.4%
3位	交通の利便性が高いまち	48.3%
4位	関東の主要都市	37.7%
5位	災害に強く、治安のよいまち	29.2%

「令和4年度さいたま市民意識調査」(さいたま市)

## ● 幸福度ランキング 政令指定都市中総合第3位



「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」(一般財団法人日本総合研究所)

## ● 住みたい街ランキング2023 首都圏版

順位	駅名	順位	駅名
1位	横浜	13位	中目黒(東急東横線)
2位	吉祥寺	14位	武蔵小杉(東急東横線)
3位	大宮	15位	表参道(東京メトロ銀座線)
⋮		⋮	
12位	浦和	22位	さいたま新都心

「SUUMO住みたい街ランキング2023首都圏版」(株式会社リクルート)

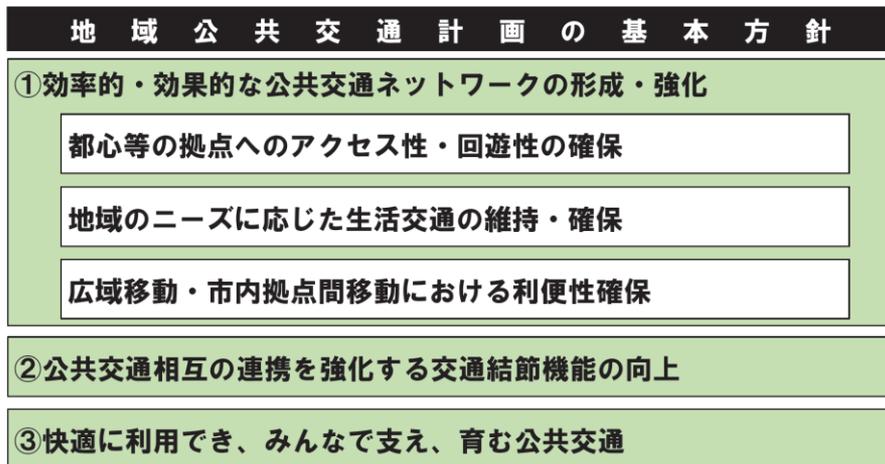
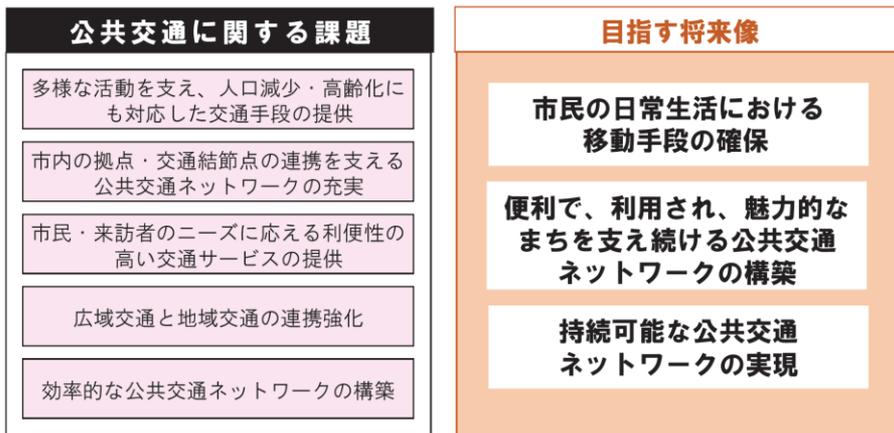
## ● 交通アクセスがよい街



<https://www.city.saitama.jp/006/007/002/013/p051309.html>

# 地域公共交通計画

# 基本方針・目指す将来像（さいたま市地域公共交通計画）



# 目指す公共交通ネットワーク（さいたま市地域公共交通計画）

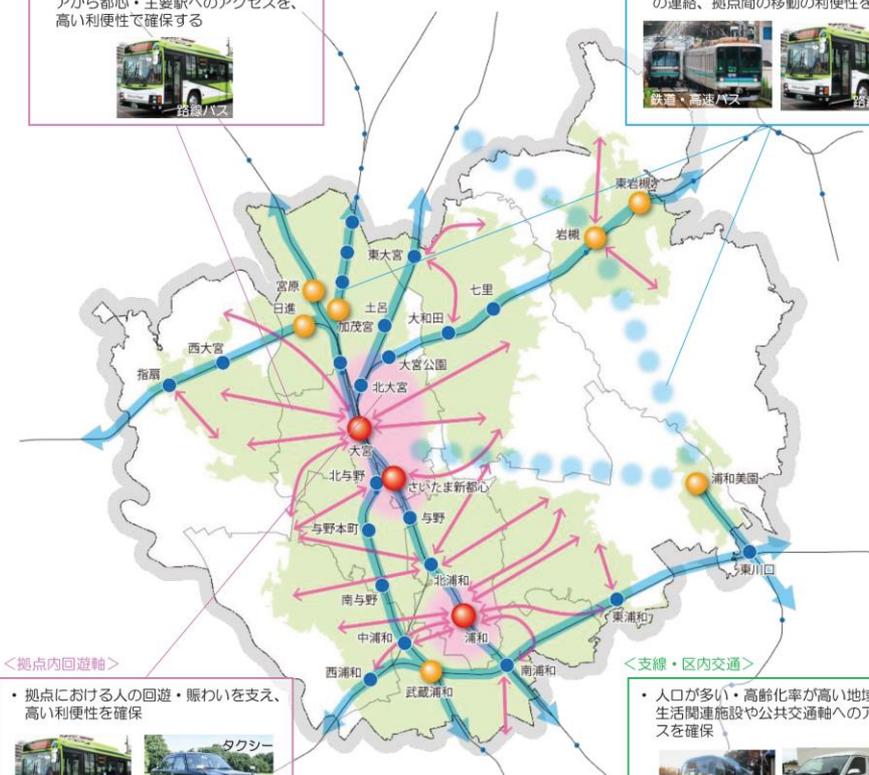
<市内拠点・鉄道駅へのアクセス軸>

- 拠点間や市内の人口集中地区等のエリアから都心・主要駅へのアクセスを、高い利便性で確保する



<市外・市内拠点間連携軸>

- 市外との連携や市内の都心・副都心間の連絡、拠点間の移動の利便性を確保



- 駅 (都心)
- 駅 (副都心)
- その他駅
- 人口集中地区 (R2国勢調査)

基本方針に沿って設定する軸など

市内拠点・鉄道駅へのアクセス軸		↔
拠点内回遊軸	都心回遊交通	○
市外・市内拠点間連携軸	広域幹線軸	↔
	広域幹線軸(検討中)	↔
支線・区内交通	市内の各地域のニーズに応じて補完的な公共交通サービスの提供を目指す	

<拠点内回遊軸>

- 拠点における人の回遊・賑わいを支え、高い利便性を確保



<支線・区内交通>

- 人口が多い・高齢率が高い地域から生活関連施設や公共交通軸へのアクセスを確保



国土交通省  
スマートシティ実装化支援事業

# さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（2020年1月設立）

## さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム

【会長】（一社）美園タウンマネジメント  
【監事】（一社）アーバンデザインセンター大宮  
【事務局】さいたま市

### 大宮プロジェクトチーム

（株）日建設計総合研究所  
ENEOSホールディングス（株）  
（株）JTB  
OpenStreet（株）  
Sinagy Revo（株）  
ヤフー（株）  
埼玉大学  
ソフトバンク（株）  
（株）パスコ  
芝浦工業大学  
東京都立大学

### 美園プロジェクトチーム

（一財）計量計画研究所  
（株）NTTドコモ  
KPMGコンサルティング（株）  
MONET Technologies（株）  
（株）つばめタクシー

※加入順（2023年9月1日時点）

## ■ 事業のセールスポイント

駅を核とした**スマート・ターミナル・シティ**を目指し、AI・IoT等のスマート化技術や官民データの活用により、地域課題・ニーズにきめ細かく対応しながら、①健康で環境にやさしい**脱クルマ依存型生活行動**を支え、**地域回遊性を高めるモビリティサービスを充実**させるとともに、②モビリティと**地域経済活動が連携した「ライフサポート型MaaS」**を構築・実装し、③**3D都市モデル**も活用した**スマートプランニング**の高度化・実践により**ウォーカブルな都市空間・環境**の形成を促進する。

## ■ 位置図



## ■ 本事業全体の概要

### ○ スマートシティで解決したい都市インフラ関連の課題

市全域	中心市街地 (先行モデル：大宮駅・さいたま新都心駅周辺)	郊外住宅地 (先行モデル：美園地区)
<ul style="list-style-type: none"> <li>①幹線道路の慢性的な<b>交通渋滞の解消</b></li> <li>②コロナ禍・Postコロナにおけるライフスタイル・価値観の変化に合わせた<b>移動手段の充実とモード間連携・地域連携による公共交通の利便性向上・地域活性化</b></li> <li>③<b>自家用車から徒歩・自転車・公共交通への行動変容促進</b></li> <li>④<b>駅周辺におけるウォーカブルな都市環境の形成</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤<b>鉄道駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消</b></li> <li>⑥<b>東日本の玄関口としての交流拠点形成</b></li> <li>⑦<b>大宮-さいたま新都心間の回遊性向上</b></li> <li>⑧<b>商都大宮をはじめとするまちのにぎわい再生</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨<b>生活拠点施設へのアクセス改善</b> (自家用車に依存した生活行動の解消)</li> <li>⑩<b>交通弱者の外出機会の創出</b> (新型コロナウイルス感染症に伴い外出機会が一層減少)</li> </ul>

### ○ 課題解決の方向性

#### 駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」

さいたま市のスマートシティのコンセプト「市民のウェルビーイングな暮らしを実現する〈スマートシティさいたま〉」の構築に向け、駅を核としたウォーカブルでだれもが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を形成



## ■ 対象区域の概要

- 名称：さいたま市
- 面積：約217.4km<sup>2</sup>
- 人口：約133万人

## ■ 対象区域のビジョン

### ○ 上質な生活都市

全ての人があわせを実感し、自らが暮らすまちに誇りを感じることができる都市

### ○ 東日本の中枢都市

市民や企業から選ばれ、訪れる人を惹きつける魅力にあふれる都市

### ○ 実施する施策

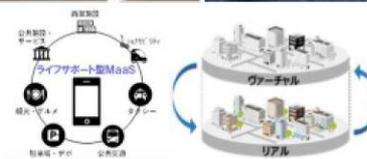
**施策① 健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え、地域回遊性を高める〈モビリティサービスの充実〉**

ーシェア型マルチモビリティの導入   ーAIオンデマンド交通の導入



**施策② モビリティと地域経済活動が連携した〈ライフサポート型MaaSの構築〉**

ーモビリティを軸にしながら、買い物等のサービス・データを連携・統合



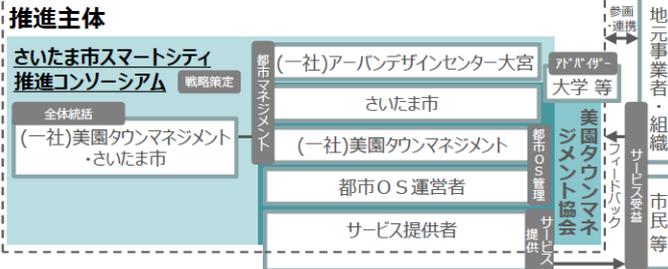
**施策③ スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成**

ーライフサポート型MaaSから得られるデータ等を活用したスマート・プランニングにより施設配置や空間整備等、最適な空間計画を実現

## ■ スマートシティの目標(KPI)

KPI	現況値	目標値
まちなかの滞留人口・時間	-（取組の中で計測）	-（取組の中で計測）
交通利便性への満足度	57.8%（R2）	64.0%（R7）
自動車分担率(市全体)	26.8%（H30）	現況からの減
グリーンポイント発行数	0ポイント	-（取組の中で計測）
店舗売上	-（取組の中で計測）	-（取組の中で計測）
身体活動量	-（取組の中で計測）	-（取組の中で計測）

## ■ 運営体制



## ■ 導入技術

### 施策① モビリティサービスの充実

- シェア型マルチモビリティ**（中心市街地型モデルで先行実証）
  - 主に在住者、在勤者の移動の利便性向上や、都市の回遊性、環境負荷の軽減などを両立する新たな都市交通システムとして、**複数モビリティのシェアリングサービス**を展開。
- AIオンデマンド交通**（郊外住宅地型モデルで先行実証）
  - 既存交通を補完し、多様な地域ニーズに柔軟に応えながら（脱クルマ依存型生活行動）を支える移動手段として、**AIがリアルタイムで最適な配車を行う**オンデマンド交通サービスの新規導入



### 施策② ライフサポート型MaaSの構築

- モード間連携**
  - 路線バスなどの**既存の公共交通とシェア型マルチモビリティ等新たなモビリティサービスとの連携**（MaaS、ポート配置、配車等）による移動の総量の増加・更なる利便性の向上。
  - 鉄道事業者とシェア型マルチモビリティとのアプリ連携も想定。



### ○地域経済連携

- **HELLO CYCLINGアプリ**や**AIオンデマンド交通サービスの予約アプリ**において**商業施設やキッチンカー等の情報を発信**（及びアプリ相互で情報発信連携）し、外出のきっかけ作りによりバス・シェアサイクル等公共交通の利用促進と地域消費を誘発。

### 施策③ スマートプランニングによるウォーカーブルな都市空間・環境の形成

- スマートプランニング高度化**
  - 歩行者の移動量、滞留量とさいたま市3D都市モデルデータを活用した日影の投影範囲分析の重畳による**快適な移動空間、滞留空間評価モデルの構築・実証**。デジタルツインによる都市基盤整備。
  - 市民ニーズの収集・分析・施策反映のスマートな仕組み作り（**プランニングプロセスの高度化**）。



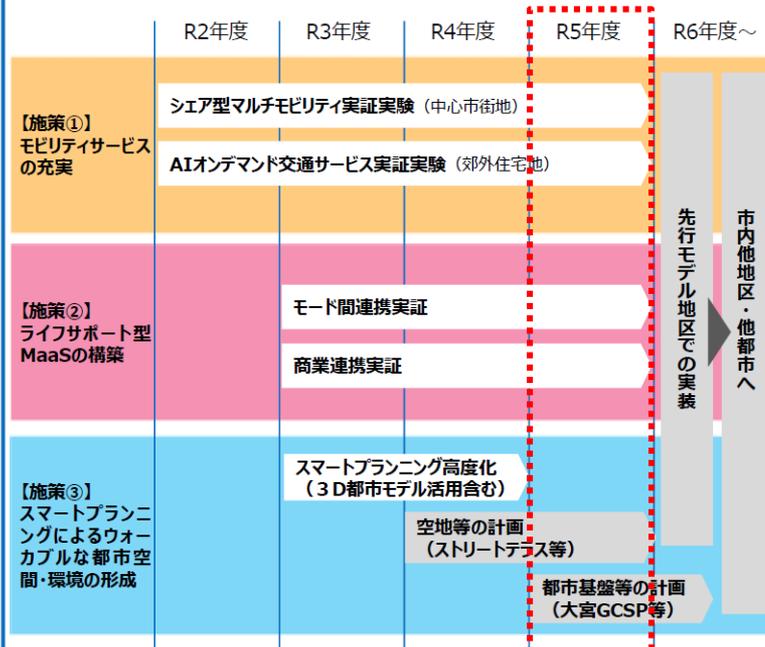
## ■ビジネスモデル

- ・ 施策①「モビリティサービスの充実」、施策②「ライフサポート型MaaSの構築」と、施策①、②から得られるデータを活用した施策③「スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成」のサイクルを継続して実践することを目指す。
- ・ また、「美園タウンマネジメント協会」にて都市OS「共通プラットフォームさいたま版」の開発・実証が進められており、本実行計画においても同基盤と各種サービスのAPI連携を含めたデータ連携について検討していく。
- ・ さらに、市内先行モデル地区である「大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区」、「美園地区」では、アーバンデザインセンターを拠点に各地区特性に応じた地域プレイヤー参画・連携によるまちづくり事業スキーム構築が試行されており、持続可能な地域経営を実現していくために市民や企業を巻き込む体制・仕組みづくりを推進。スマートシティ推進の基盤としていく。

施策	持続可能な取組とするための方針
【施策①】 モビリティサービスの充実	各種モビリティから得られる移動データ等の活用や、市民ニーズの的確な反映等によるポート配置等サービス設計の最適化、また、地域の受益者との協働により、効率的で持続可能なサービス運営を実践していく。
【施策②】 ライフサポート型MaaSの構築	各種モビリティ事業者や地域事業者等がメリットを享受できるようなMaaSの仕組みを構築していく。
【施策③】 スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成	施策①、②において継続的にデータを取得できる（民間事業者の中でクローズされない）運営体制を構築するとともに、それらを含めた各種データや3D都市モデル等を活用したスマートプランニング手法の高度化を図り、デジタルツインにより都市基盤（実空間）をウォーカブルな環境としていく。

## ■スケジュール

- ・ スマートシティ先導モデル都市となるべく、地域のニーズを把握し、きめ細かなに対応ながら、社会実装と横展開を意識した取組を推進。
- ・ 中心市街地型として大宮駅周辺・さいたま新都心駅周辺地区、郊外住宅地型として美園地区の2地区をさいたま市内のスマートシティ先行モデル地区とし、各種実証実験と検証を実施。得られた成果を市内他地区や他都市へ展開していく。
- ・ 施策①モビリティサービスの充実、施策②ライフサポート型MaaSの構築については、市内先行モデル地区においてR6年度の社会実装を目指す。また、官民データ（施策①、②から得られるデータ含む）や3D都市モデルを活用しながら、スマートプランニングを高度化し、その実践によりウォーカブルな都市空間・環境の形成を推進する（施策③）。



■ 将来イメージ



※「大宮GCSプラン2020」のまちの将来像イメージより作成

# シェアサイクルからシェア型マルチモビリティへ

## 2018年より 新たな都市の交通システム構築を検証

2018年11月

シェアサイクル実証実験



公用地・民有地にステーションを配置  
シェアサイクルの普及促進・データ活用

2019年8月

シェアスクーター実証実験



中長距離移動の快適性向上など  
さらなる移動の利便性向上に向けた検証

2020年12月

シェア型マルチモビリティ実証実験



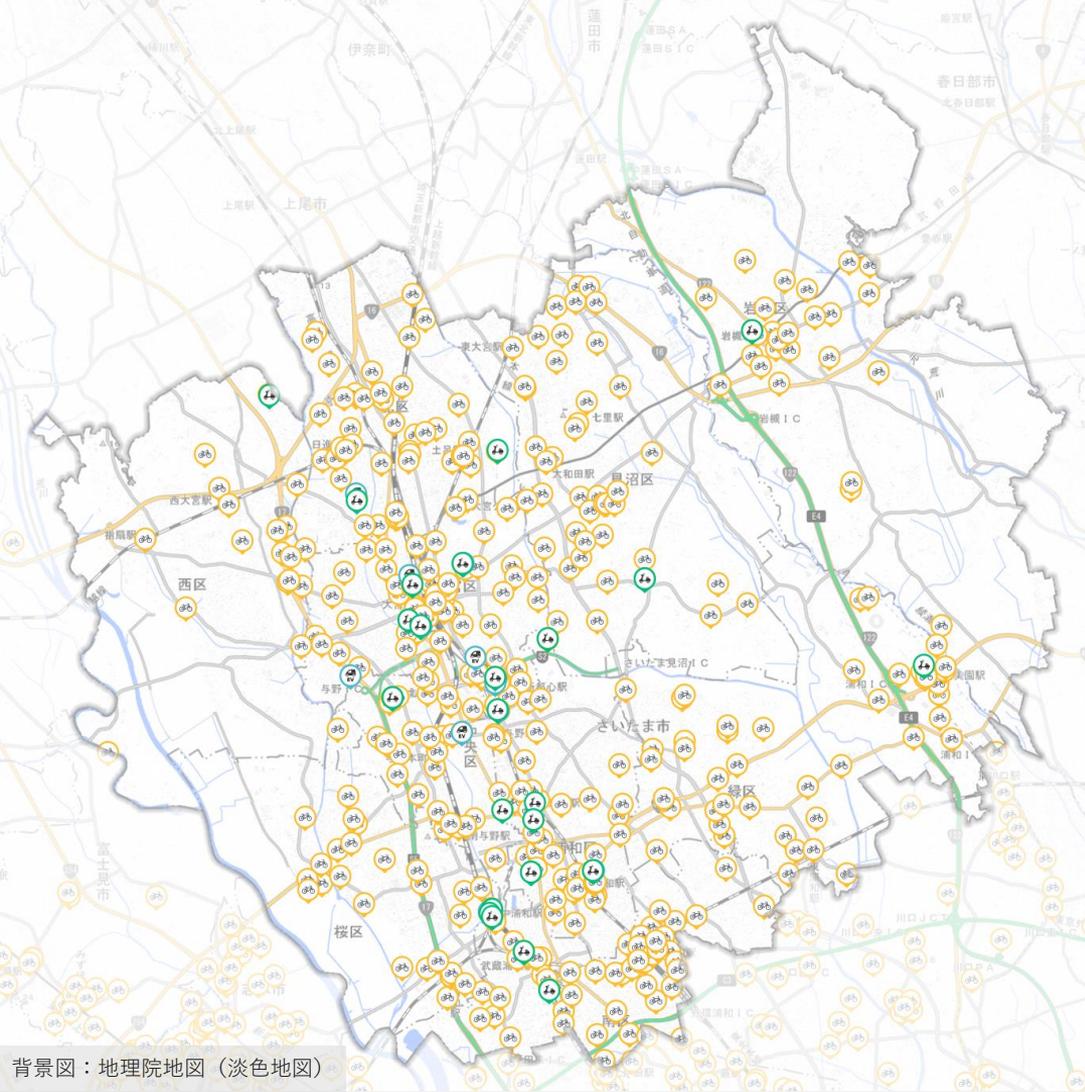
市内各所にマルチモビリティを配備し、  
交通利便性向上・環境負荷の軽減等を検証

2022年3月

包括連携協定



まちづくり、環境保全、災害対策、  
経済振興など多岐にわたる分野で連携

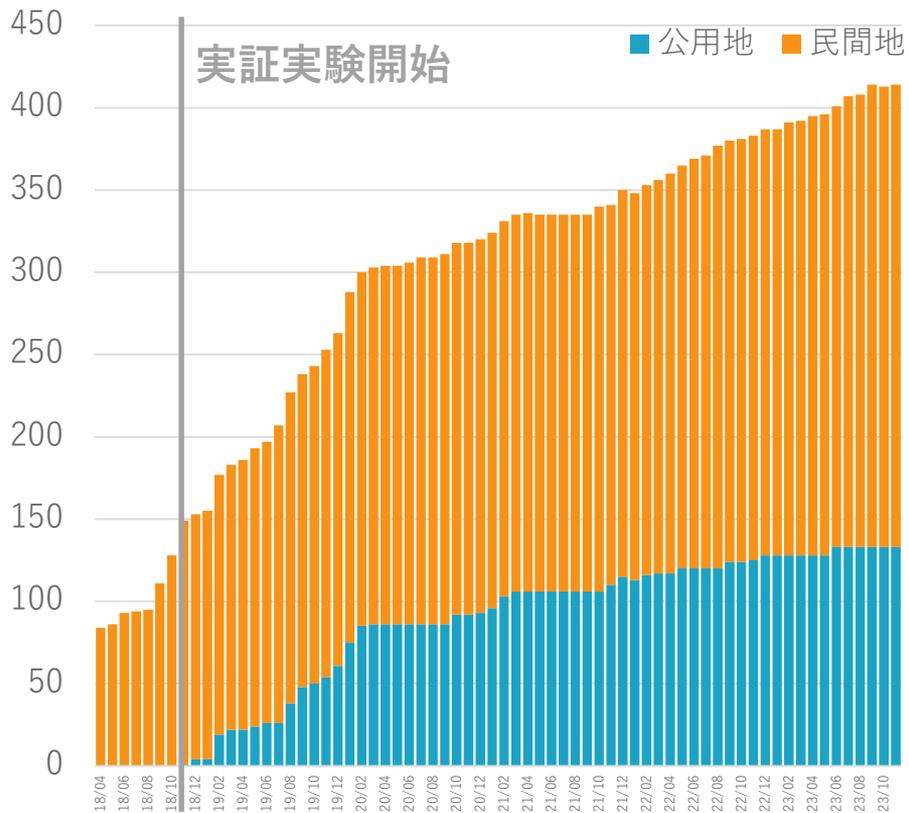


市内に413箇所  
3,539ラック

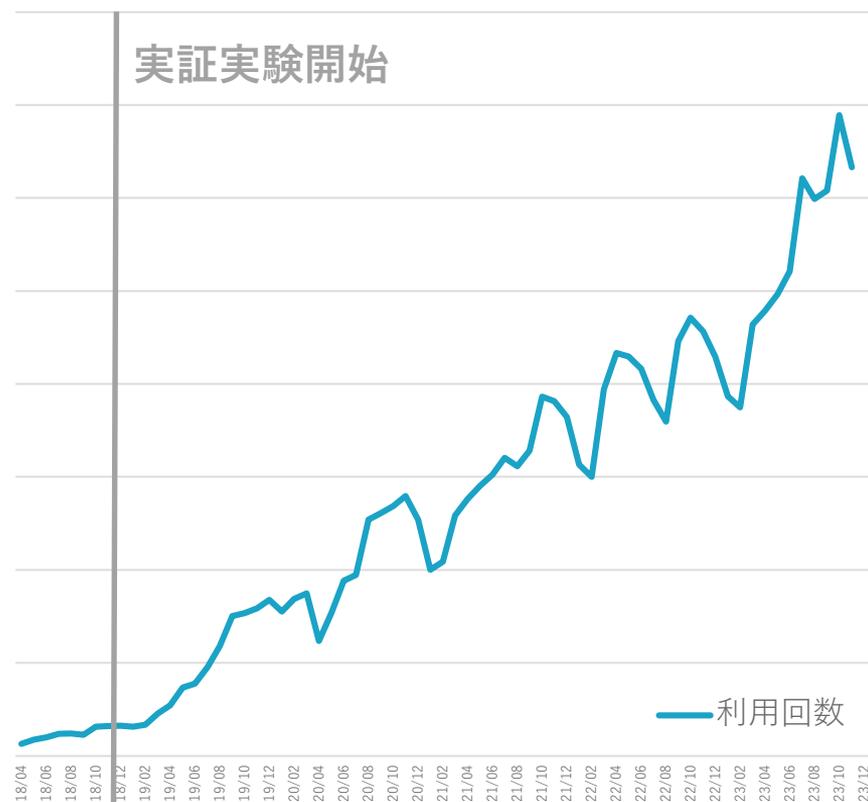


# 官民連携によるインフラ整備

## ポート数



## 利用回数



# シェア型マルチモビリティ 三者協定の締結 (2020年12月)



 さいたま市	 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・モビリティポート用公有財産の確保</li> <li>・関係事業者との調整</li> <li>・実証実験結果の検証 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチモビリティ・シェアリング事業の実施及び運営（施設整備、維持管理等）</li> <li>・利用データの提供 等</li> </ul>

(資料)

## さいたま市シェア型マルチモビリティ等の実証実験に関する基本協定書 (概要)

### 1 趣旨

- ・移動の利便性向上や都市の回遊性向上と環境負荷の軽減などを両立する新たな都市の交通システムとして、マルチモビリティ・シェアリング事業を社会実装
  - ・官民連携で事業の有効性・課題を検証するため、市、OpenStreet 株式会社、ENEOS ホールディングス株式会社が共同で実施する実証実験<sup>®</sup>の協定を締結
- ※さいたま市スマートシティ推進事業の取組の一つとして「シェア型マルチモビリティ」の実証実験を実施

### 2 協定書の対象区域と対象期間

区域：さいたま市内  
 期間：締結日～令和7年3月31日



### 3 主な業務内容

#### (1) 役割分担

 さいたま市	 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・モビリティポート用公有財産の確保</li> <li>・関係事業者との調整</li> <li>・実証実験結果の検証 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチモビリティ・シェアリング事業の実施及び運営（施設整備、維持管理等）</li> <li>・利用データの提供 等</li> </ul>

#### (2) モビリティポート用公有財産の貸付け

- ・別途締結する貸付契約書によって市が所有する公有地を無償で貸し付ける。

#### (3) 費用負担

- ・マルチモビリティ・シェアリング事業の実施に関する施設整備、機材の調達、維持管理、事業の運営、実施期間終了後の原状回復に要する費用は事業者が負担する。

#### (4) 運営基準

- ・利用者がどのモビリティポートでも借りることができ、また、借りた場所とは別のモビリティポートに返却可能なシステムとする。

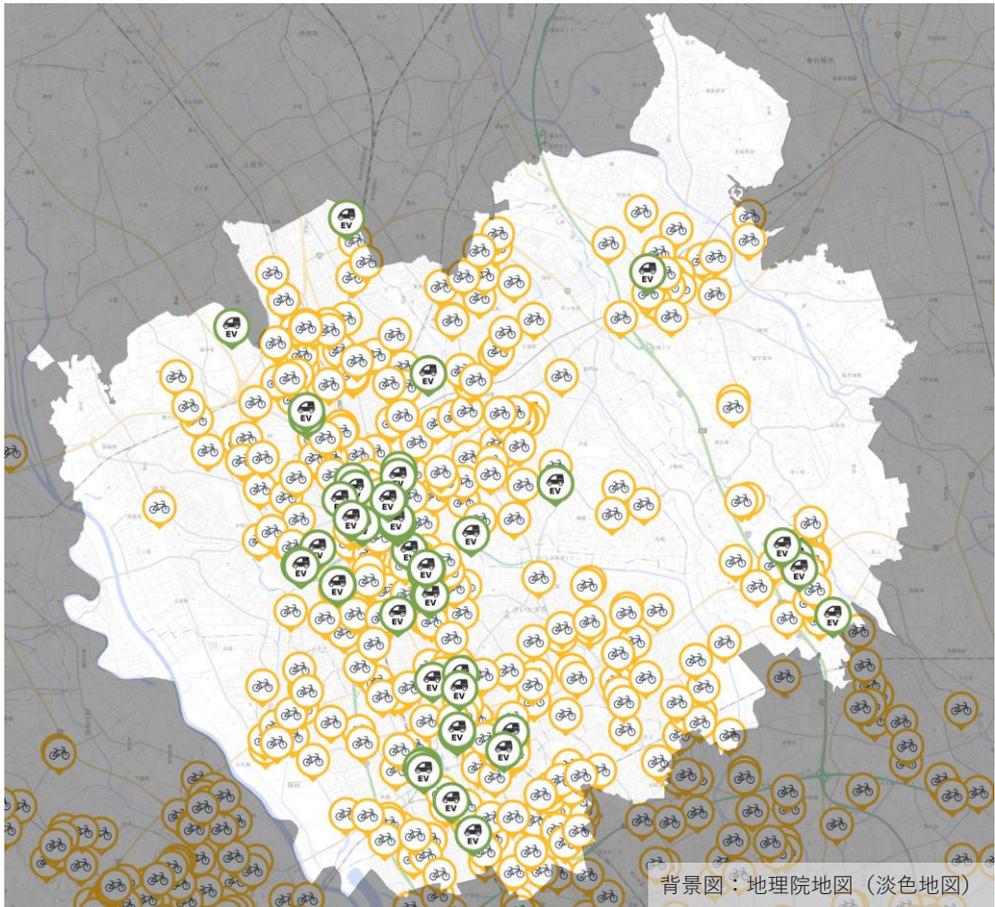
#### (5) 共同企画

- ・マルチモビリティ・シェアリング事業及びさいたま市スマートシティ推進事業の推進に資する施策を共同して企画・検討し、実施する。

#### 4 事業報告及び実験結果の検証

- ・事業者は、実証実験における利用状況や収支に関する情報について、月次報告のほか実験終了時の最終報告を行う。
- ・実験結果を踏まえ、市と事業者が共同でマルチモビリティ・シェアリング事業の有効性と課題を検証する。

# シェア型マルチモビリティ実証



## 実証実験の概要:

### モビリティ×商業×健康分野の連携によるエリア価値向上事業

駅を核としたスマート・ターミナル・シティに向けて、**モビリティを軸とした分野間連携により、移動と暮らしを支える「ライフサポート型MaaSの構築」**に向けた取組（モビリティのモード間連携、モビリティ×商業、モビリティ×健康）を展開するとともに、**各取組から得られる各種データを用いた効果検証を通じて、ウォーカブルな都市空間・環境の形成**を目指す。

### 目標 (KPI)

【凡例】太字：本実証に関わるKPI

- ・まちなかの滞留人口・時間
- ・交通利便性への満足度
- ・自転車分担率
- ・グリーンポイント発行量
- ・再生可能エネルギー導入量
- ・店舗売上
- ・身体活動量
- ・都市OS連携団体数

### 実行計画

### 駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」



「市民のウェルビーイングな暮らしを実現する〈スマートシティさいたま〉」の実現に向け、駅を核とした**ウォーカブルでだれもが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を構築**。

#### 【概要】

駅を核とした**スマート・ターミナル・シティ**を目指しAI・IoT等のスマート化技術や官民データを活用し、地域課題・ニーズにきめ細かく対応することで

- ・**施策①〈モビリティサービスの充実〉**により、健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え、地域回遊性を高めるとともに、
- ・**施策②** モビリティと地域経済活動が連携した**〈ライフサポート型MaaSの構築〉**により
- ・**施策③〈スマートプランニングの高度化・実践によりウォーカブルな都市空間・環境の形成〉**を促進する。

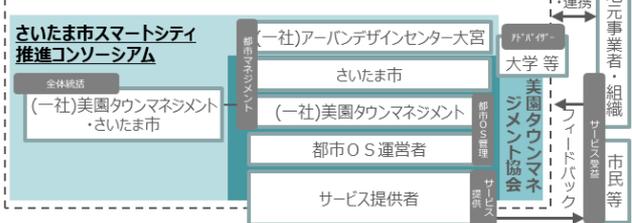
#### 【先行モデルエリア】

- 中心市街地型モデル** (大宮駅・さいたま新都心駅周辺地区)  
高密度エリア・商業業務地ゾーン
  - 郊外住宅地型モデル** (美園地区)  
中高密エリア・住宅地ゾーン
- ※市内先行モデル地区での実践後、横展開

### 体制

さいたま市のスマートシティの政策をエリア・分野の拡張のフェーズへ進めるにあたり、**さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム**が**推進主体として統括・マネジメント**し、各種プレイヤーの参画・連携を促進。

#### 推進主体



### 実証内容

「**ライフサポート型MaaS**」の構築に向け、**下記3つのサービス実証**を行うとともに、当該サービスから得られる**移動・購買・運動データ**等を用いて、**健康増進・脱炭素化に向けた行動変容施策、地域経済活性化に向けた回遊性向上施策**の効果検証を行うことで、ウォーカブルな都市空間・環境の形成につなげていく。

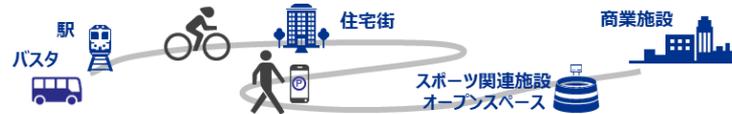
#### 【移動の接続】

**実証1(モード間接続)〈中心・郊外〉**  
利便性向上・環境負荷低減に向けた  
モビリティサービスシームレス化  
→移動機会増加、自家用車から公共交通への手段転換促進

#### 【移動と目的地の接続】

**実証2(モビリティ×商業)〈中心〉**  
地域内回遊性向上に向けた1to1マーケティング  
→移動機会増加、地域活性化

**実証3:「モビリティ×健康」〈郊外〉**  
健康増進・賑わい創出に向けた日常的な健康づくりコンテンツサービス活用  
→自家用車から徒歩・自転車への行動変容促進、運動習慣の定着



### スケジュール

	R2	R3	R4	R5	R6~
【施策①】モビリティサービスの充実	AIオンデマンド・シェアモビリティ実証実験				
【施策②】ライフサポート型MaaSの構築	<b>本事業対象</b> <b>モード間連携実証 (実証1)</b> <b>地域経済連携実証 (商業分野連携: 実証2) (健康分野連携: 実証3)</b>				
【施策③】スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成	スマートプランニング高度化・空地等の計画				

先行モデル地区での実装  
市内他地区・他都市へ

都市基盤の計画

# シェア型マルチモビリティとのまちの連携

## 連携イメージ



## 高速バス連携



# 【鉄道連携】シェアサイクルサブスク実証（市内JR駅定期券利用者向け）

**さいたま市限定**

何回乗っても  
シェアサイクル  
Ringo Pass

**初乗り料金  
月額1,500円!**

2022年12月1日(木)~2023年1月31日(火)

**対象条件** 発着駅どちらかがさいたま市内のJR東日本の駅で、サブスクサービスご利用月に1日でも有効な日を含むSuica定期券・通学定期券を、サブスクサービスご利用月の前月末23時59分までにRingo Passに登録すること

**対象駅** 西浦和、東浦和、南浦和、浦和、北浦和、与野、さいたま新都心、大宮、土呂、東大宮、武蔵浦和、中浦和、南与野、与野本町、北与野、日進、西大宮、指扇、宮原

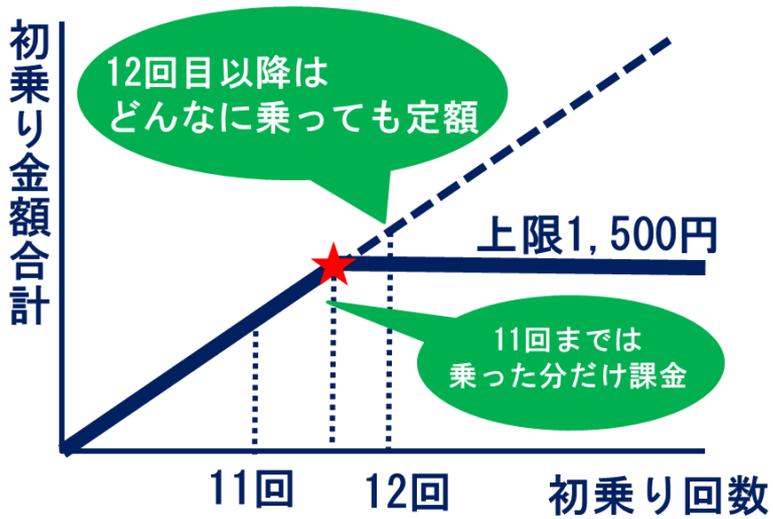
詳しくはこちら 

サブスク  
実証実験中!

Ringo Pass ×  ×  HELLO CYCLING

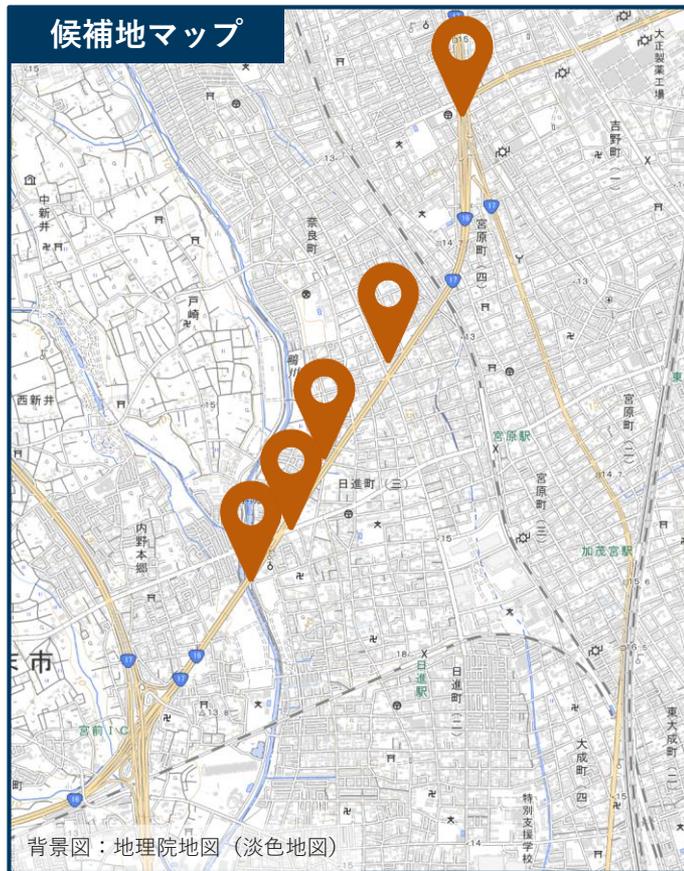
**対象**

発着駅いずれかがさいたま市内のJR駅で、Suica定期券を前月末までにRingo Passに登録





# 国道空間へのステーション設置



# 国道ステーションにおける路線バス連携

交通モード間連携ステーション実証実験  
**シェアサイクルとバスを使おう!**

期間 令和5年1月10日(火)～令和5年2月3日(金)

**参加概要**

- まずはアプリ登録
- 対象ステーションを利用
- バスに乗り換えよう

130円クーポンGET!

ぜひ乗り換えてください!

アプリをダウンロード

対象ステーションのシェアサイクルを利用

対象ステーションにシェアサイクルを返却してバスに乗り換える

参加特典のご案内  
 期間中に対象ステーションを利用した方にシェアサイクルで利用できる130円クーポンをプレゼント!  
 1日あたり1人1回獲得できます※ 複数日利用すれば利用日×130円

対象ステーションMAP

利用方法

- まずはアプリ登録  
 初回はアプリをダウンロードして会員登録(無料)を。  
 アプリのダウンロードはこちら
- 自転車を予約しよう  
 アプリで予約し、乗付番号と認証番号を交換
- 自転車を借りる  
 サイクルステーションで自転車を解放  
 ICカード登録で2週間から予約可能に!

さいたま市

## バス

周知状況/西武バス車内

交通モード間連携ステーション実証実験 (R5.1.10～R5.2.3)

対象路線のバス車内に掲出  
 掲出期間: R4.12.28～R5.2.3



## 商業施設

周知状況/イオンモール与野

交通モード間連携ステーション実証実験 (R5.1.10～R5.2.3)

店舗インフォメーションボードに掲出  
 掲出期間: R4.12.31～R5.2.3



# 令和5年度 スマートシティ実装化支援事業 支援地区

## R5 支援地区 (13地区)

先駆的な事業の実証事業に対する支援。

【凡例】都市サービス実装タイプ 通常タイプ

①	東京都 千代田区
②	三重県 四日市市
③	福島県 会津若松市
④	埼玉県 さいたま市
⑤	千葉県 柏市
⑥	東京都 大田区
⑦	東京都 渋谷区
⑧	新潟県 新潟市
⑨	石川県 加賀市
⑩	愛知県 岡崎市
⑪	兵庫県 加古川市
⑫	和歌山県 すさみ町
⑬	熊本県 荒尾市

## R5ハンズオン支援地区 (2地区)

先進事例等の知見を有した国土交通省職員が  
コンソーシアムの検討に対する助言や情報提供  
等の支援 (ハンズオン支援)。

a	京都府 精華町・木津川市
b	兵庫県 三木市



### 13地区の先進的なスマートシティプロジェクトの支援を決定 ～令和5年度スマートシティ実装化支援事業の選定～

先進的技術や官民データを活用し、まちの課題を解決し、新たな価値を創出するため、都市活動や都市インフラの管理及び活用を高度化する「スマートシティ」の実装に向けて、令和元年度から各地区のスマートシティに関する取り組みを支援してきました。

この度、内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省が連携し、合同公募・審査を行い、先進的な都市サービスの実装化に向けて取り組む13地区の実証事業の支援を決定しました。

今年度からは、早期にまちへの実装を目指す取組等を行う先導地区を対象とした「都市サービス実装タイプ」を前設し、重点的な支援を実施します。

●令和5年度スマートシティ実装化支援事業 支援地区 13地区 (別紙1)  
(うち、都市サービス実装タイプ 2地区)

(支援地区の例)

令和5年度に整備される中央通り沿いのパブリックスペースの活用、公共交通の利用促進およびバーチャル空間を活用したコミュニティ形成に資する取組を実施【三重県四日市市】

周辺自治体との都市間連携による広域防災データの広域利用等に関する検証およびPLATAUを活用した加古川駅周辺エリアのスマートプランニングやA1カラマによる危険運転検知に係る検証を実施【兵庫県加古川市】

●令和5年度スマートシティに関するハンズオン支援地区 2地区 (別紙2)  
コンソーシアムの検討に対する助言や情報提供等の支援。

(参考) (内閣府プレスリリース) 令和5年度のスマートシティ関連事業の選定結果  
<https://www.cao.go.jp/estp/stpmain/20230630smartcity.html>

【問い合わせ先】

国土交通省 スマートシティプロジェクトチーム事務局<sup>※1</sup>  
窓口：大嶋、村岡、北原 (内線 32673、32672、32629、32674)  
Tel : 03-5253-8111 直連: 03-5253-8411  
E-mail : hot-smartcity-mit\_atmark\_gxb.mlit.go.jp<sup>※2</sup>

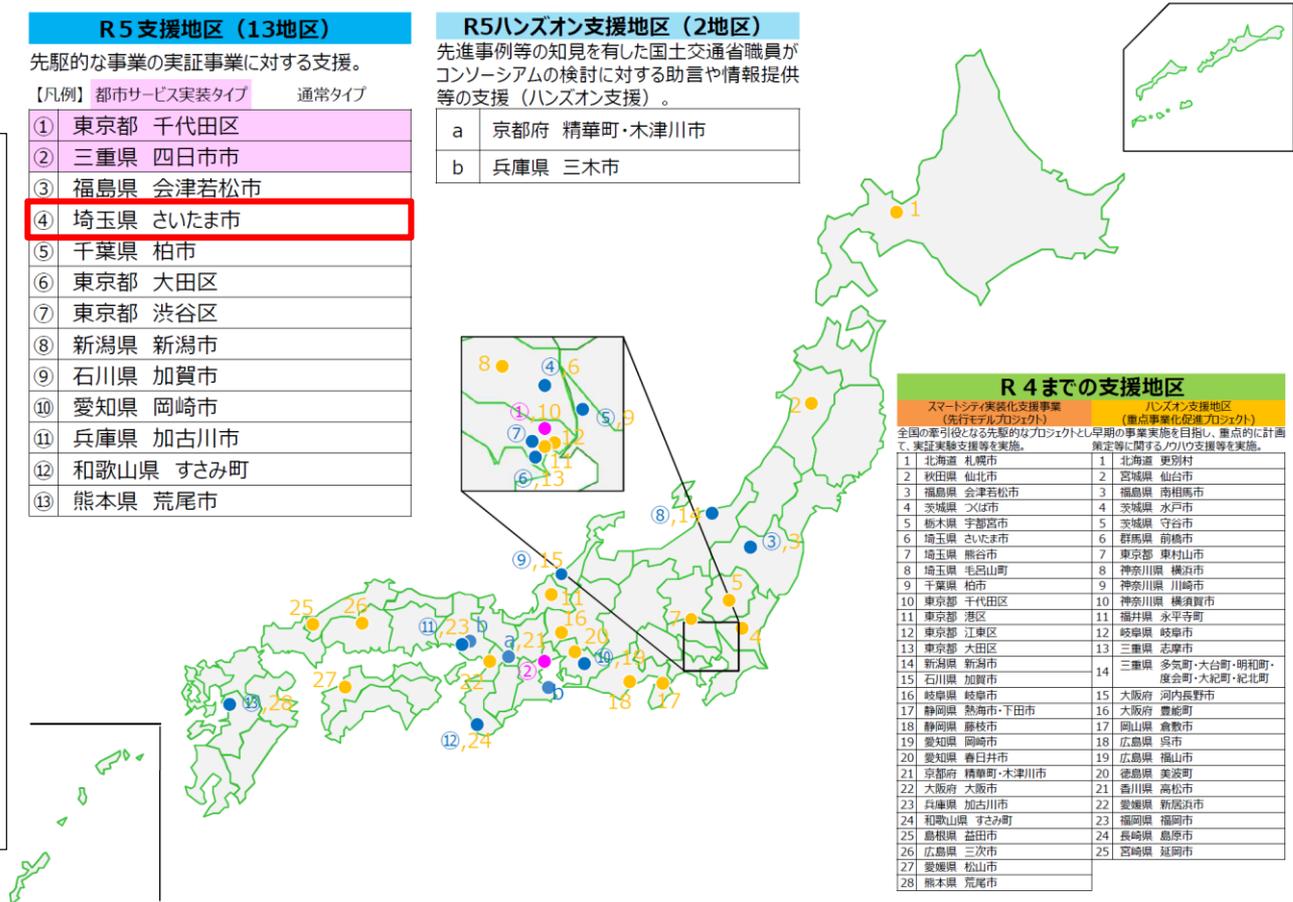
※1 Tel は国土交通省都市計画部から申請につながります。

※2 【atmark】を11に置き換えてご連絡ください。

## R4までの支援地区

スマートシティ実装化支援事業 (先行モデルプロジェクト) ハンズオン支援地区 (重点事業化促進プロジェクト)  
全国の牽引役となる先駆的なプロジェクトとして早期の事業実施を目指し、重点的に計画  
中で、実証実験支援等を実施。 選定等に関するノウハウの支援等を実施。

1	北海道 札幌市	1	北海道 更別村
2	秋田県 仙北市	2	宮城県 仙台市
3	福島県 会津若松市	3	福島県 南相馬市
4	茨城県 つば市	4	茨城県 水戸市
5	栃木県 宇都宮市	5	茨城県 守口市
6	埼玉県 さいたま市	6	群馬県 前橋市
7	東京都 豊谷市	7	東京都 東村山市
8	埼玉県 熊谷市	8	神奈川県 横浜市の
9	千葉県 柏市	9	神奈川県 川崎市
10	東京都 千代田区	10	神奈川県 横須賀市
11	東京都 港区	11	福井県 永平寺町
12	岐阜県 岐阜市	12	岐阜県 岐阜市
13	東京都 大田区	13	三重県 志摩市
14	新潟県 新潟市	14	三重県 多気町・大台町・明和町・ 度会町・大紀町・紀北町
15	石川県 加賀市	15	大阪府 河内長野市
16	岐阜県 岐阜市	16	大阪府 豊能町
17	静岡県 熱海市・下田市	17	岡山県 倉敷市
18	静岡県 藤枝市	18	広島県 呉市
19	愛知県 岡崎市	19	広島県 福山市
20	愛知県 春日井市	19	広島県 福山市
21	京都府 精華町・木津川市	20	徳島県 美波町
22	兵庫県 加古川市	21	香川県 高松市
23	和歌山県 すさみ町	22	愛媛県 新居浜市
24	和歌山県 すさみ町	23	福岡県 福岡市
25	島根県 益田市	24	長崎県 島原市
26	広島県 三次市	25	宮崎県 延岡市
27	愛媛県 松山市		
28	熊本県 荒尾市		



## 【埼玉県さいたま市】スマート・ターミナル・シティさいたま

駅を核としたウォーカブルで誰もが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境(スマート・ターミナル・シティ)の形成に向け、**ラストワンマイルのパーソナルな移動手段の多様化**を図るため、市内および他都市へ展開・実装された「**シェアサイクル**」に「**シェアスクーター**」・「**超小型EV**」を加えたサービスの**実装(R6目標)**、**特定小型原付(小型電動スクーターなど)等新たなモビリティの拡充・実装(R7目標)**を進める。

### 実証事業に関する目標 (KPI)

	現況値(R4年度)	目標値(R5年度)
シェアサイクル利用回数	100%	110%
シェアスクーター・超小型EV利用回数	100%	110%

### 実行計画(全体)



「市民のウェルビーイングな暮らしを実現するスマートシティさいたま」の実現に向け、駅を核としたウォーカブルでだれもが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を構築。

**施策①** <モビリティサービスの充実>により、健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え、地域回遊性を高めるとともに、

**施策②** モビリティと地域経済活動が連携した<ライフサポート型MaaSの構築>を進め、

**施策③** 各種サービスデータや都市データを活用した<スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成>を促進する。

#### 【先行モデル地区】

- **中心市街地型モデル** (高密度エリア・商業業務地ゾーン)  
→ 大宮駅・さいたま新都心駅周辺地区
- **郊外住宅地型モデル** (中高密度エリア・住宅地ゾーン)  
→ 美園地区

先行モデル地区での  
実践・成果を  
市内其他地区等へ横展開

### 実証事業における体制



### 実証事業の内容

#### 利用者増加に向けたエリア拡張とステーション配置の最適化(スマートプランニング)

・モビリティサービスの充実に向け、**シェアサイクル・シェアスクーター・超小型EV等のモビリティサービスの実装**を目指している。

・本実証では、**R6年度の実装**に向けて利用者増加を図るため、**モビリティから取得したGPSデータ等を活用し、市全域へのエリア拡張とステーション配置の最適化**を進める。



市内シェアサイクル利用状況 (GPSデータから作成)



シェアモビリティの実装・拡張



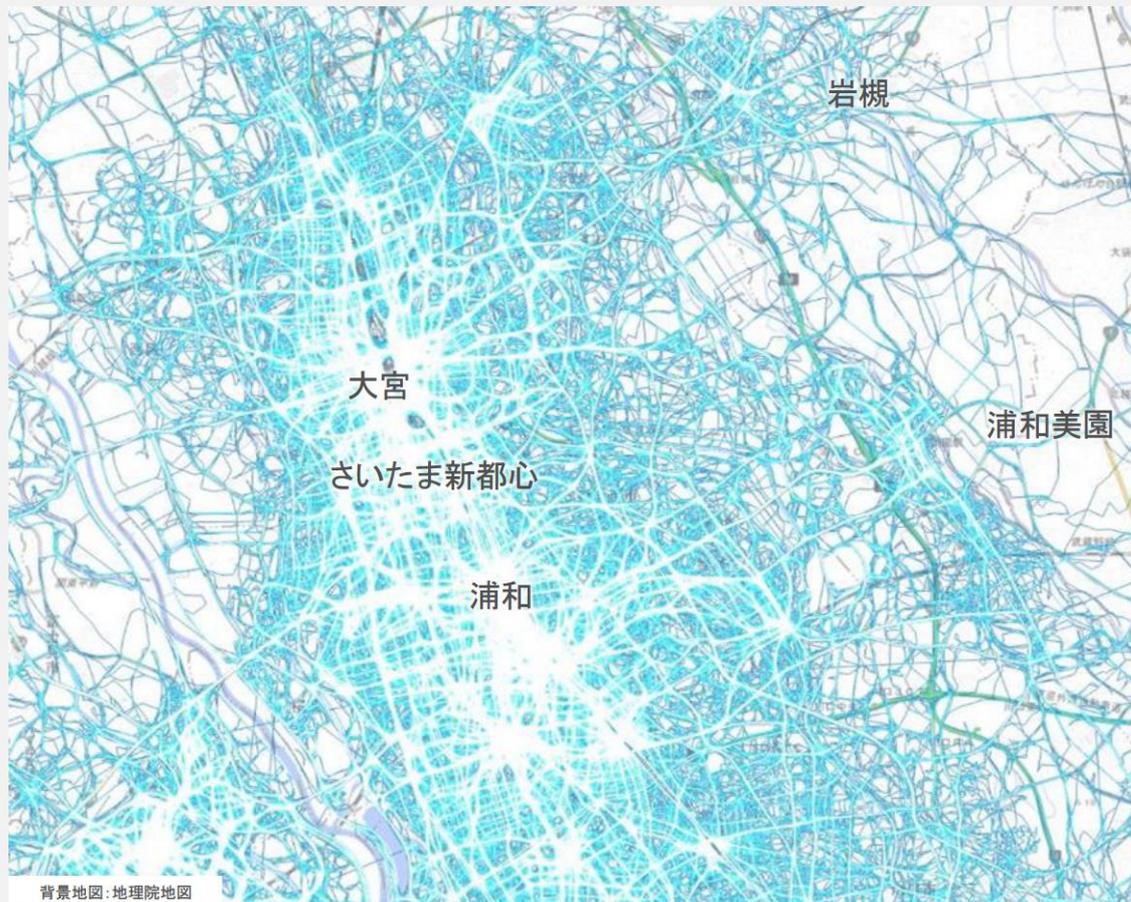
多様な移動手段を選択できるステーションイメージ

### 実証事業から実装までのスケジュール

取組	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
シェア型マルチモビリティ (ラストワンマイルの多様化)	実証実験 (中心市街地) シェアサイクル+スクーター+超小型EV		実証エリア拡張・最適化 既存データ分析 新たなモビリティへの拡張 小型電動スクーターなど	実装	他都市への展開・連携
MaaSの構築	モト連携・地域経済連携				
ウォーカブルな都市空間・環境の形成 (スマートプランニング)	スマートプランニング高度化				

# シェア型マルチモビリティとまちの連携

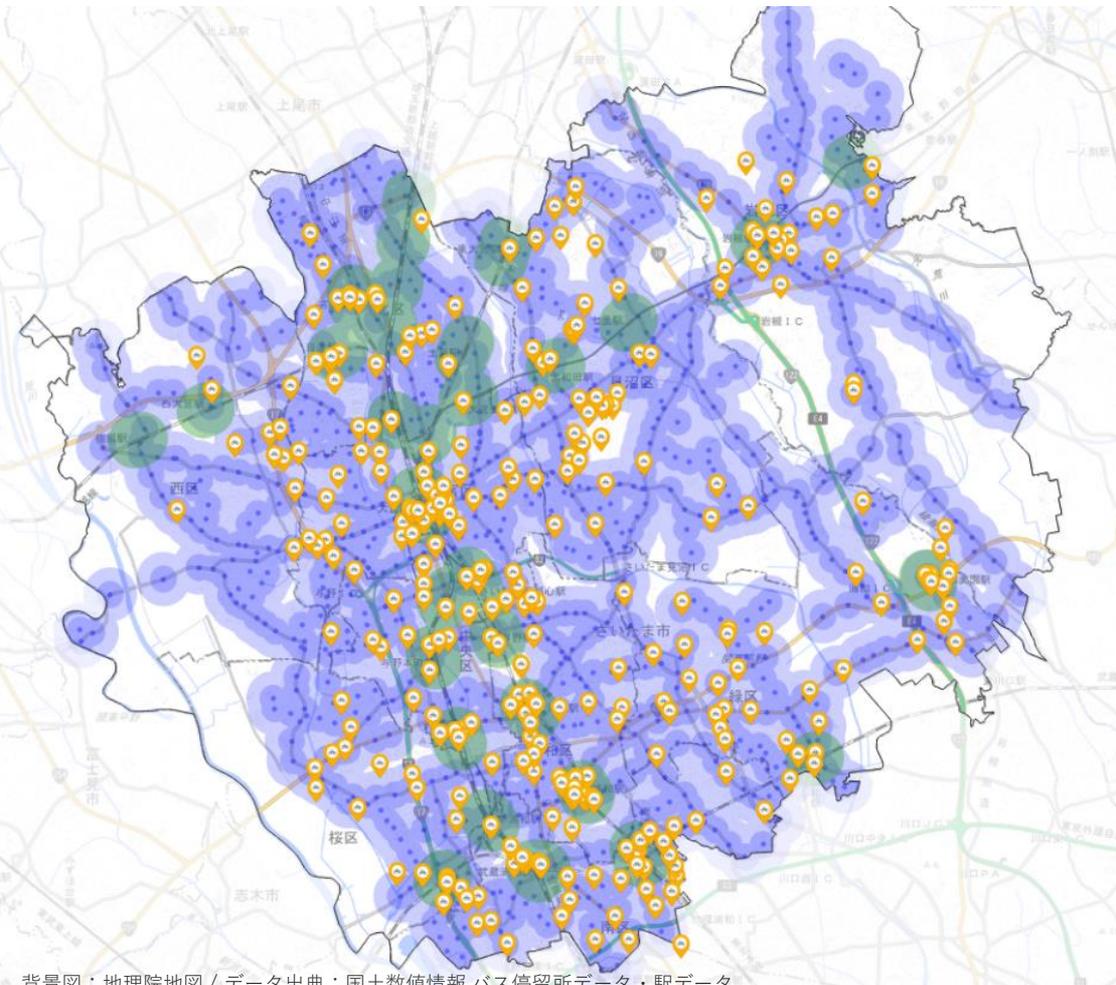
# 移動データを活用した分析・都市政策への活用



市内全域に広がる走行軌跡をもとに  
自転車走行環境の整備検討などに活用  
(さいたま市自転車走行環境効果検証会議にデータ提供)



# 都市交通の“補完”としてのシェアモビリティ

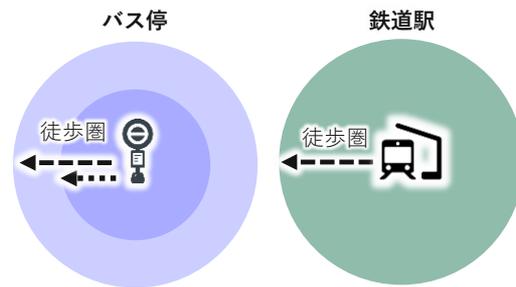


## 交通空白地の補完として

市内の既存公共交通機関（鉄道・バス）の  
徒歩圏を分析・図化



ステーション設置に反映



# 政令市・区政施行20周年事業

## ① マルチモビリティのサブスクリプション：10～11月

A：シェアサイクル単体（初乗り30分乗り放題）

B：シェアサイクル＋スクーター＋EV（乗り放題）

## ② 10区回遊スタンプラリー：12月～1月

10区×10か所のスポット回遊でクーポンを付与（先着5,000枚）



## ① マルチモビリティのサブスクリプション

### HELLO CYCLING

・ 2000円/月額



- ・ シェアサイクル30分乗り放題（回数無制限）
- ・ 延長料金は通常通り発生

### HELLO CYCLING + HELLO MOBILITY



・ 20000円/月額 ※20名限定

- ・ シェアサイクル+シェアスクーター+シェアEV
- ・ 時間無制限乗り放題（使い放題）

## ② 10区回遊スタンプラリー

観光地や商店をスポットに設定し、消費の活性化と新たな街の魅力発掘につなげる

**タップ**

**返却**

**チェックインする**

**チェックイン履歴**

**マイページ**

**クーポン一覧**

**クーポンコード登録**

**クーポンコード登録する**

**登録**

**ご利用可能クーポン**

クーポンコード: Checkin2653584320221018

クーポン金額: 130円 OFF (残り3回)

有効期限: 2022/10/18~2022/11/18

**国営昭和記念公園(みんなの原っぱ)**  
シェアサイクルで観戦地「つなごう」キャンペーン  
詳細を見る

**チェックイン先の履歴も確認**

**付与されたクーポンはマイページで確認できます**

立川市 福生市 全部  
2/11 1/10 3/21

立川市魅力発信拠点施設コトリンク1階「LULU Terrace」

源助の森公園

カフェ・ドゥ・ジャルダン

# 【商業連携】市・経済局



## Cafe 砂時計

さいたま市浦和区仲町2-9-5

営業時間：10:00~18:00

定休日：不定休

創業1974年より当店独自の精製・焙煎により新鮮で安全で美味しい本物の珈琲を提供している老舗の珈琲店です。本物の珈琲とオリジナルスイーツを是非味わってください。

店舗の詳細を見る



# 【バス連携】情報連携実証の実施

## HELLO CYCLINGアプリ上にバス停情報を表示 バス・シェアサイクルの組合せ利用を促進



### 概要

#### シェアサイクルとバスを使おう！

今なら路線バスのバス停情報がMAP上に表示されます。シェアサイクルとバスを上手に活用して、効率よく移動しましょう。

### 実証内容

本表示は、さいたま市と実施している実証実験の一環として、公共交通とシェアサイクルを組み合わせた生活行動を促進する目的で実施しています。

表示対象：さいたま市内に所在する西武バスバス停留所  
表示期間：2022年3月00日～2023年3月31日

### データについて

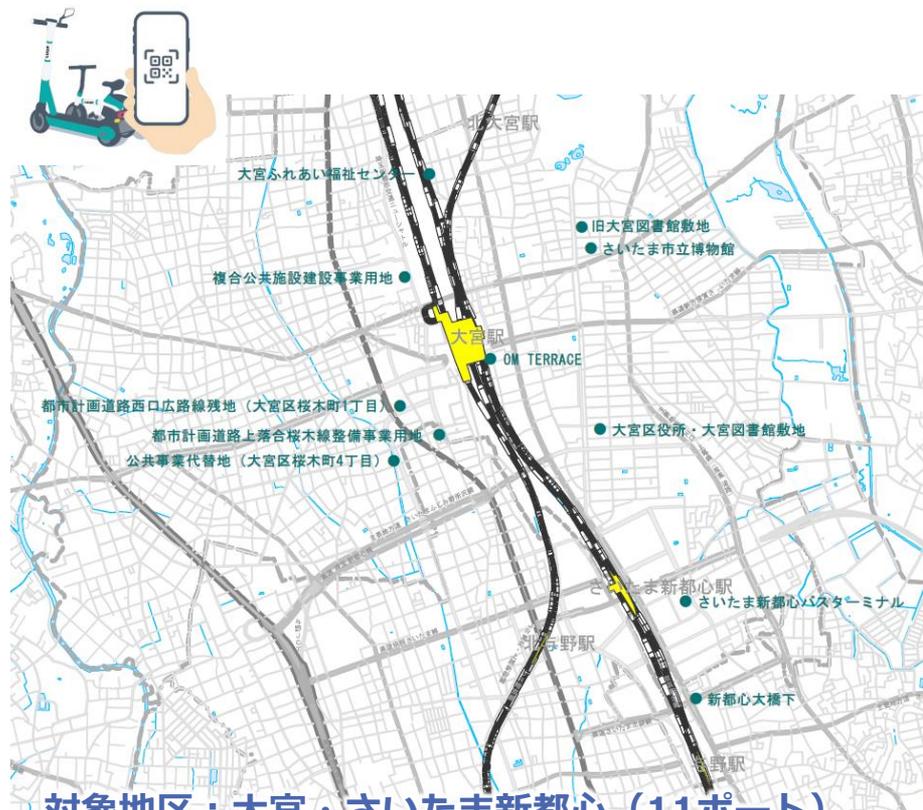
本アプリケーションが利用する公共交通データは、公共交通オープンデータセンターにおいて提供されるものです。公共交通事業者により提供されたデータを元にしてますが、必ずしも正確・完全なものとは限りません。本アプリケーションの表示内容について、公共交通事業者への直接の問い合わせは行わないでください。

バス停データ最終更新日時：2022年〇月〇〇日

公共交通オープンデータセンターより  
バス停情報を取得予定



# 【参考】電動キックボード実証（期間限定）



**対象地区：大宮・さいたま新都心（11ポート）**  
**実施期間：11月9日（水）から12月4日（日）**  
**実施主体：LUUP（ENEOS）**

## 安全講習会＆体験試乗会（11/5）の様子



# マルチモビリティステーションのアップデート

## マイクロモビリティ

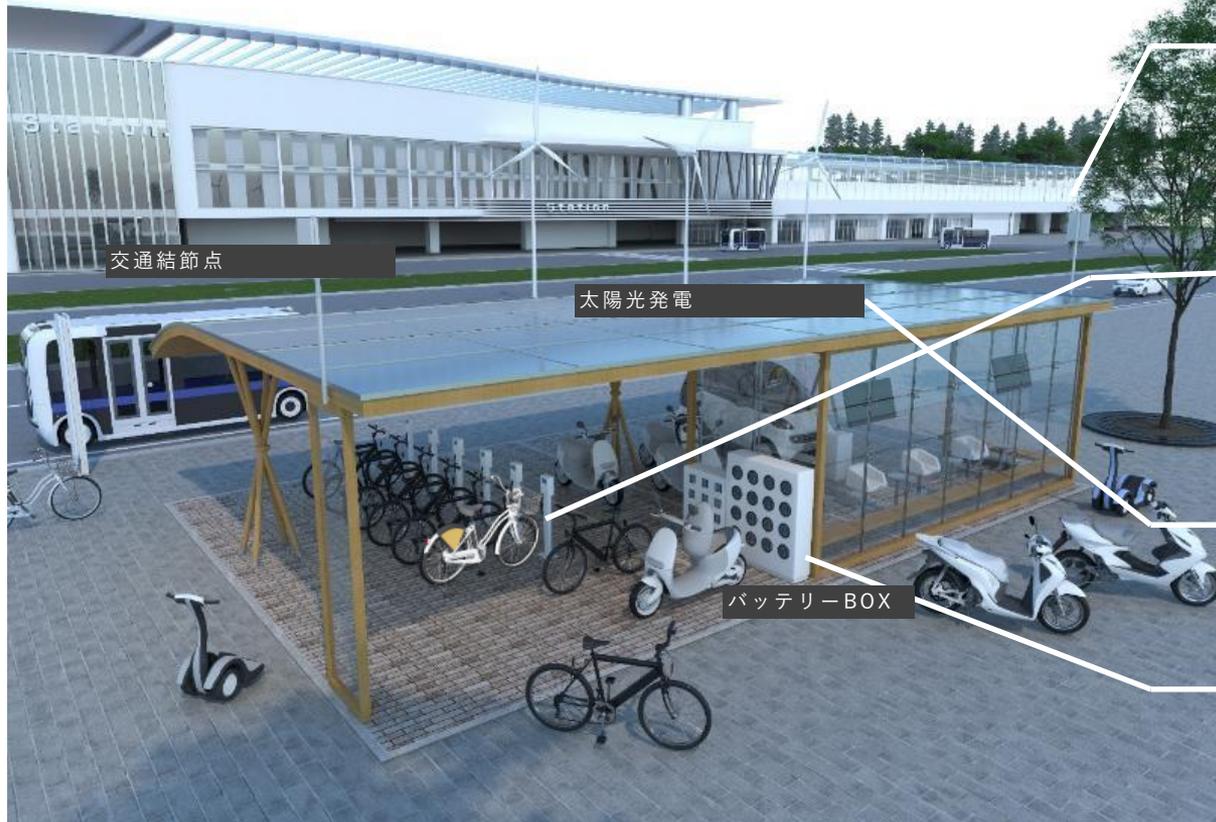
### 自転車



### スクーター



### 小型EV



## インフラ・その他



### 5G アンテナ

5G/WiFi



### チャージャー Sta.

エネルギー供給

### 次世代エネルギー

再生可能エネルギー発電  
蓄電システム



### バッテリーBOX

エネルギー供給

# マルチモビリティステーション (東京都世田谷区)

## NEWS RELEASE



ENEOS

2023年1月25日

各位

ENEOSホールディングス株式会社

### ENEOSがマルチモビリティステーションを開業します！



photos@Nacasa & Partners Inc. NAKAMICH ATSUSHI

当社（社長：齊藤 猛）はラストワンマイルの移動における変革を目指した複数の電動モビリティおよび電動二輪向けバッテリーのシェアリングサービスを提供する「ENEOSマルチモビリティステーション」（東京都世田谷区、以下、「本拠点」）を2月2日（木）に開設しますので、お知らせいたします。



シェアリングサービス	台数	サービス名称	運営会社
電動キックボード	6台	LUUP	株式会社 Luup
電動アシスト自転車	6台	HELLO CYCLING	Open Street 株式会社
電動スクーター	6台	HELLO MOBILITY	
電動小型自動車	2台	HELLO MOBILITY	
電動二輪バッテリー交換機	1基 * バッテリー 10個	Gachaco	株式会社 Gachaco



## 公用地・民間用地の連携により高い利便性を実現

中心市街地



住宅地



官 公園緑地



官 駅前 民



官 公開空地 民



民 マンション



民 コンビニ

# 駐車場のシェアモビリティポートとしての活用事例



HELLO MOBILITY

← HELLO MOBILITY

駐車券を取らず、車内の駐車定期券で入出場してください

さいたま市桜木駐車場  
埼玉県さいたま市大宮区桜木町3-1-1  
[> 運営会社について](#)

貸出可能	返却可能	ここまでの距離
3	2	5km 1

Junior seat

車両番号: 横浜580 わ 5392  
車両種別: FOMM  
利用プラン: 200円 (税込価格 220円) / 15分  
定額プラン

80% 132km ?

利用プランを見る



商業施設の駐車場



市営自転車駐車場



市営バスターミナルの駐車場



市営駐車場

# シェアモビリティの脱炭素化



@さいたま新都心バスターミナル

# BaaS・バッテリーマネジメントの実証実験



バッテリーステーション×シェアによる  
EVバイクの普及促進

## 日本経済新聞

### 「脱炭素先行地域」に26自治体 環境省、横浜など第1弾

2022/4/26 14:13 | 日本経済新聞 電子版

環境省は26日、2030年度までに家庭やオフィスビルなどの消費電力を再生可能エネルギーで100%まかなうことをめざす「脱炭素先行地域」の初の選定結果を公表した。横浜市や新潟県佐渡市など26自治体を選んだ。1自治体あたり5年間で最大50億円を交付し、省エネや再生エネ導入を支援する。25年度までに少なくとも100カ所を選び、集中的に脱炭素を進める。

#### 脱炭素先行地域に選ばれた 提案を出した自治体

北海道石狩市	堺市
北海道上士幌町	兵庫県姫路市
北海道鹿追町	兵庫県尼崎市
宮城県東松島市	兵庫県淡路市
秋田県	鳥取県米子市
秋田県大湯村	島根県邑南町
<b>さいたま市</b>	岡山県真庭市
横浜市	岡山県西粟倉村
川崎市	高知県橋原町
新潟県佐渡市	北九州市
長野県松本市	熊本県球磨村
静岡市	鹿児島県知名町
名古屋市	
滋賀県米原市	※共同提案自治体は 含まず

#### シェアモビリティ関連事業【さいたま市】

- ①シェアEVスクーターサービスの展開
  - ・ EVスクーター導入
  - ・ **バッテリーステーションの開発・導入**
  - ・ バッテリーマネジメントシステムの開発・運用
- ②シェアEVサービスの展開
- ③再生可能エネルギーの活用
- ④CO2削減量の可視化



バッテリー交換式  
シェアEVスクーター



バッテリーステーション



シェアEVスクーターの  
バッテリー交換



シェアモビリティ  
ステーション

# 【商業連携】 連携施策

## 集客施策 with まるまるひがしにほん



10月31日(日)まで来館者数 / おかりごま

**祝 200万人突破!**

来館者数200万人突破キャンペーン

1. 「まるまるひがしにほん」対象店舗で使える! 20名様様に3,000円相当のお食事券プレゼント!

2. 東日本各地の秋の味覚、集結! オンラインストア限定商品販売

配信条件

配信方法:  メッセージ  メール  SMS

対象ユーザー: 性別  男性  女性  未記入

配信の地域:  中国  3km以内  3km~10km以内  10km~15km以内  15km~20km以内  20km~25km以内  25km~30km以内  30km~35km以内  35km~40km以内  40km~45km以内  45km~50km以内  50km~55km以内  55km~60km以内  60km~65km以内  65km~70km以内  70km~75km以内  75km~80km以内  80km~85km以内  85km~90km以内  90km~95km以内  95km~100km以内

## 賑わい連携 with 大宮ぷらっと



シェアサイクルに乗って **大宮ぷらっと** で買い物しよう!

本ステーション利用後に大宮ぷらっとで買い物したら

**100円 OFF!!**

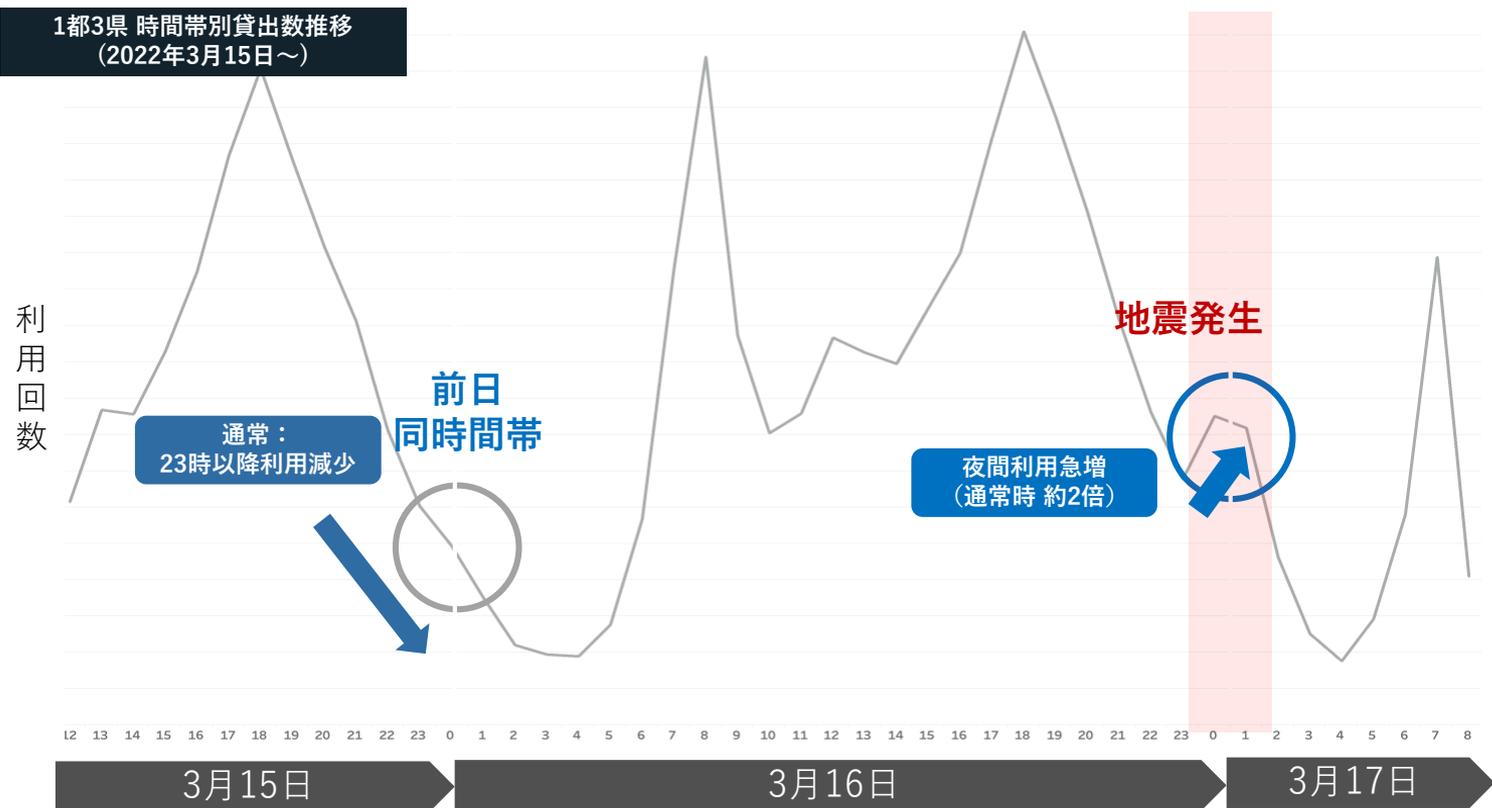
さらに 大宮ぷらっとで買い物した方全員にシェアサイクル130円OFFクーポン配布中!

期間 2023.1.21 ~ 2023.2.28  
営業日 水 木 土 日 7:00~17:00



# 地震発生時の利用回数の変化 (2022年3月15～16日)

## 通常時と比較して利用は大幅増



# シェアサイクルバッテリーの災害活用

## 災害時の役割

**Sta** : エネルギーステーション  
**Mobility** : 小回りの利く蓄電池



## 平常時の役割

**Sta** : 交通拠点  
**Mobility** : 脱炭素型モビリティ

## 災害を見据えた蓄電・給電インフラ構築

- ・モビリティステーション  
エネルギー供給拠点化
- ・シェアモビリティからの給電



## 日常移動における移動の脱炭素化

- ・環境負荷の少ない交通体系の構築
- ・脱炭素型モビリティの導入



# サッカー日本代表戦における人流分散実証



▲臨時ステーションの所在地及び本施策で期待する帰宅導線

## 実施時期

- ・ 1/27 日本 対 中国戦
- ・ 2/1 日本 対 サウジアラビア戦

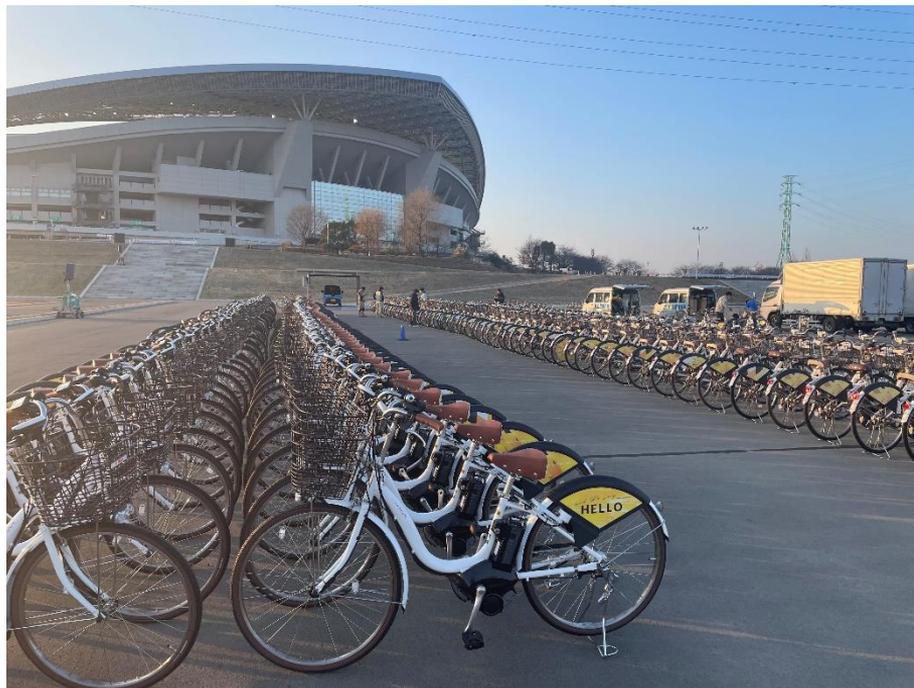
## 目的

- ・ 試合観戦者の移動の利便性向上
- ・ 埼玉スタジアムの最寄駅（浦和美園駅）周辺の交通負荷の分散・緩和

## 手段

- ・ 埼玉スタジアムに隣接する臨時ステーションの設置（500台規模）
- ・ 最寄駅と異なる沿線（東川口駅・東浦和駅）の近傍に臨時返却ステーション設置

# 埼玉スタジアム臨時ステーション・特設ブース





# 実証実験 実績

## 利用回数

319件

1月27日：101件，2月1日：218件

## 利用者数

261人

両日利用者：52人 複数台利用者：5人

## 臨時返却Staへの誘導率

73%  
(233件)

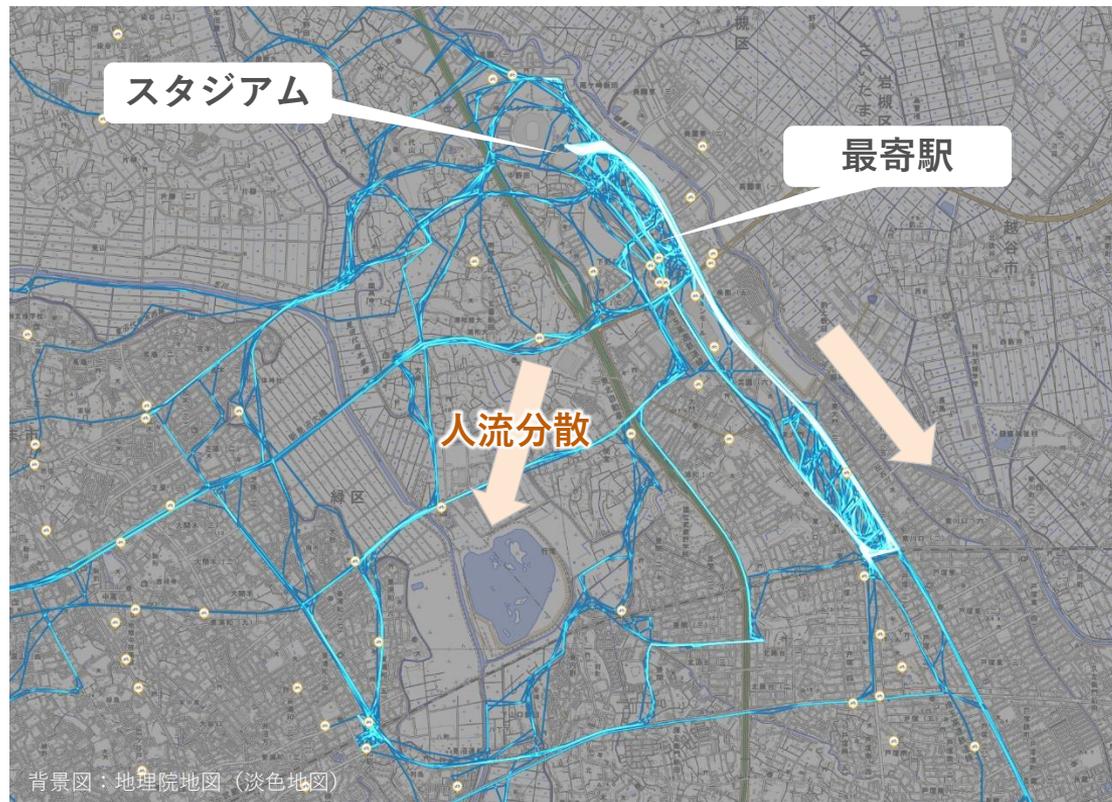
東川口駅・サイパ駐輪場 : 207件  
東浦和駅・サイパ駐輪場 : 16件  
東川口駅・東川口3丁目 : 10件

## 常設Sta返却事例

### 多方面に分散

さいたま市 京浜東北線・埼京線沿線 : 45件  
浦和美園駅周辺 : 20件  
東武野田線方面 : 2件  
近隣他都市 (川口,草加,戸田) : 17件  
遠方他都市 (和光市,港区) : 2件

1月27日19時～23時及び2月1日19時～23時に臨時ステーション「埼玉スタジアム南・調節池広場」から流出した利用を集計（当社社員利用除）



人流分散に一定の成果

# 【データ連携】ステーションデータのオープンデータ化

The screenshot shows the website interface for the OpenStreet (Halo-Cycling) Bikeshare information. The header includes the PT logo and navigation links for 'データセット', '組織', 'グループ', and 'About', along with a search bar. The breadcrumb trail reads: 家 / 組織 / OpenStreet (ハローサイクリング) / OpenStreet / OpenStreet (ハローサイクリング) ...

The main content area features a search bar with 'データセット' entered. The title is 'OpenStreet (ハローサイクリング) バイクシェア関連情報 (GBFS形式) / Bikeshare information (GBFS format) of OpenStreet'. The text below states: 'OpenStreet株式会社の運営する HELLOCYCLING のシェアサイクルデータを GBFS 形式で公開します。対象エリアは日本全国です。' It also includes a license notice: '※本コンテンツ等はCC BY 4.0, ODC BY 1.0, ODbL 1.0 の下でライセンスされています。クレジット表示については、こちらのFAQをご参照ください。 / This content, etc. is licensed under CC BY 4.0, ODC BY 1.0, ODbL 1.0. Please refer to this FAQ for crediting this content, etc.' and a link for 'クレジット表示に関する情報'. A list of providers is shown: 'コンテンツ等の提供署名: OpenStreet株式会社 / 公共交通オープンデータ協議会' and 'Information for crediting this content, etc.: Provider name of content, etc.: OpenStreet Corp. / Association for Open Data of Public Transportation'.

The 'データとリソース' section lists several data sets: 'バイクシェア関連情報(GBFS形式) / Bikeshare information...', 'バイクシェア関連情報(GBFS形式 / station\_information) /...', 'バイクシェア関連情報(GBFS形式 / system\_information) /...', 'バイクシェア関連情報(GBFS形式 / station\_status) /...', and 'バイクシェア関連情報(GBFS形式 / vehicle\_types) / Bikeshare...'. At the bottom, there are tags for 'バイクシェア-bikeshare' and 'バイクシェア関連情報\_gbfs形式-b...'.

公共交通オープン  
データセンターにて  
2022年6月28日  
リリース



EOF

さいたま市 都市局 都市計画部 都市総務課

[toshi-somu@city.saitama.lg.jp](mailto:toshi-somu@city.saitama.lg.jp)